

議会ポスト 意見等への回答

作成日：令和3年1月20日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

キューピットバレイスキー場の運営会社が解散しどうなることかと心配しましたが、新たな運営会社を探していただき、上越市唯一のスキー場を存続していただきありがとうございます。ですが新たな経営で始まったスキー場へ行き落胆させられました。ゴンドラのみならず、ゲレンデ中央のレストランも休止。売店でのお土産販売がなくなり、あらゆるところで節約ばかり。リゾート感ワクワク感がまったくなくなってしまいました。この状況では友人・知人を連れてキューピットバレイへ行こうとは思えません。

是非一度新しい経営の現場を訪れてみてください。このままではますます利用が減り、そう遠くない時期に閉鎖となるであろうことがシロートでも感じられる状態だと思えます。もっと前向きな経営をしていただけるようご尽力いただけたらと願ってやみません。

回 答

この度は、キューピットバレイスキー場の経営に関するご意見をいただきありがとうございます。

昨シーズンの記録的な少雪による売上げの減少に伴い、令和2年3月末に前指定管理者である株式会社キューピットバレイが解散し、令和2年7月から令和3年度末までの新たな指定管理者として、株式会社スマイルリゾートが指定され、新体制で経営がスタートしました。

この指定管理者の指定は、令和2年6月定例会において、議会としても適当と認め議決したものです。その際に行政側から受けた説明は、次のとおりです。

- ・スマイルリゾートからは、コロナ禍の状況を踏まえ、まずはスキー場事業と「ゆきだるま温泉久比岐野」での日帰り温泉事業に特化するなど事業規模を縮小して経営し、その後経営改善を見極めながら、宿泊事業やキャンプ場の再開など段階的に営業範囲を広げていくとの提案があった。
- ・指定管理者選定委員会から、その提案内容について評価され、選定された。

いただいたご意見にあるレストランや売店での土産販売の休止なども上記の運営方針に基づく措置ですので、利用される皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解を

お願いしたいと存じます。

なお、市では、建設から 30 年以上を経過し社会経済環境が大きく変化したキューピットバレイスキー場を含む雪だるま高原を長期的に持続していくために、今後、市及び指定管理者が、地域住民や利用者等と意見交換をする機会を設け、意向や思いの把握に努めながら、スキー場の在り方について協議し、令和 4 年度以降の雪だるま高原の管理運営形態を検討することとしています。

このような状況ですので、議会としても、キューピットバレイスキー場が末永く愛され、利用者へより良いサービスが提供されるよう、市の取組や今後の経営状況を注視するとともに、本会議や常任委員会における審議等を通じ、引き続き様々な観点から議論を行ってまいります。

今後のご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。と存じます。